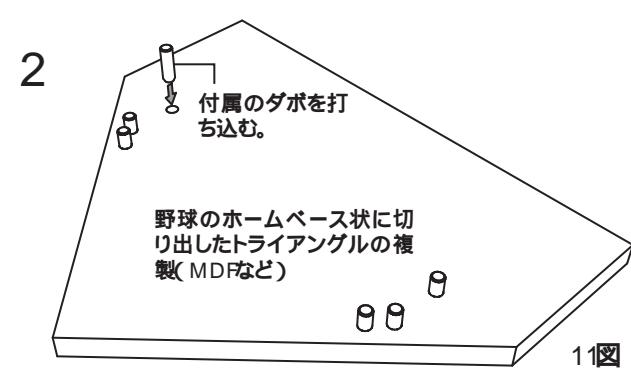
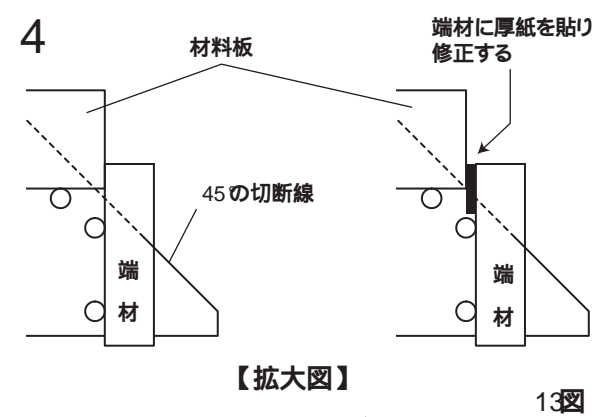


## 留め切りジグの製作

実際のジグ製作では材料板をトグルクランプなどで固定しておくスペースが必要になります。そこで全体を野球のホームベースのような形状にするといいでしょう。



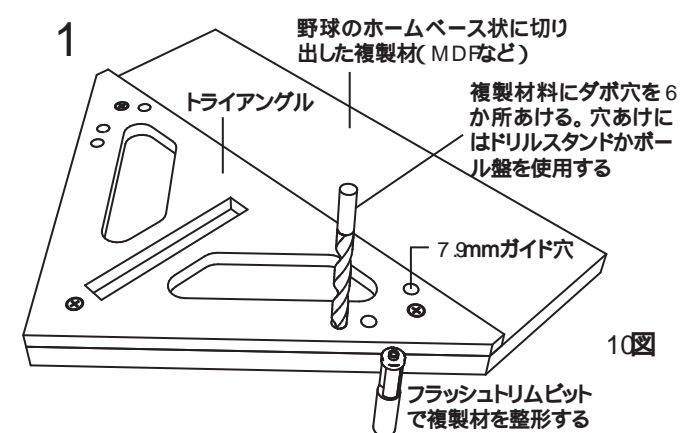
トライアングルを複製から外します。複製にあけた穴に付属のダボ（直径8ミリ）を打ち込みます。（ダボの角をつぶさないよう木片などを介して打ち込みます。）ダボの長さは25ミリです。10ミリ程度頭を出しておきましょう。（打ち込み過ぎたら裏から押し出します。）



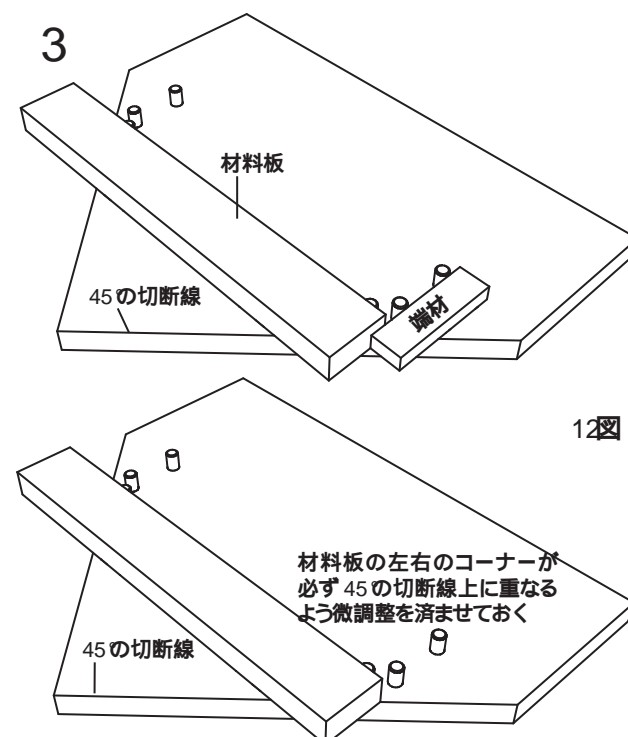
### 【微調整】

上図：材料板の角が45°切断線より外に出ている場合は端材の図の位置に厚紙などを貼って調整します。

下図：材料板の角が45°切断線より内側にある場合は端材の図の位置に厚紙などを貼って調整します。左右とも同様の方法で修正してください。また、いつもその端材を使うようにして下さい。（間違えないよう2つの端材には左右の別を書き込んでおきましょう。）



ベアリング付きフラッシュトリムビットなどで整形します。トライアングルからはみ出している部分の形状は高精度の加工は不要なのでノコギリやジグソーなどで単に切り出します。



使用するビットによってはベアリングの直径と刃の直径がほんのわずかに異なっているものもあります。そうしたビットで整形されるトライアングルの複製はほんの僅か三角形がひと回り大きい場合があります。端材と材料をダボにあてがい材料板の角と45°の切断線がぴったりと重なりズレがないか調べます。ズレが生じている場合は微調整の図を参照して厚紙などを端材に貼り誤差を修正してください。